

第13回CLC大阪サロンのお知らせ

「地域で生きる実践～べてるの家の仲間たち」

ゲストスピーカー

北海道医療大学助教授 向谷地 生良 さん

社会福祉法人 浦河べてるの家 メンバー

北海道浦河町にある「浦河べてるの家」は、精神障害を抱えた人たちの地域生活を支援する団体です。有限会社、社会福祉法人のサービス、共同住居などを運営しており、それらを総称して「浦河べてるの家」と呼んでいます。

「弱さを絆に」「三度の飯よりミーティング」「昆布も売ります、病気も売ります」「安心してサガれる会社づくり」などをキャッチフレーズに、年商1億円、年間見学者1000人を超え、いまや過疎の町を支える一大地場産業となりました。

第13回CLC大阪サロンは、兵庫県に舞台を移しての開催です。25年間のべてるの家の取り組みを支えてきた向谷地生良さんと、べてるの家のメンバーをゲストにお迎えします。べてるの家の当事者の生の声を聞きながら、地域で生きていくということについて一緒に考えてみませんか？

日 時：平成16年3月7日（日） 10時00分～12時30分（受付 午前9時30分より）

会 場：神戸市勤労会館308号室（三宮駅より東へ徒歩5分 神戸市中央区雲井通5-1-2）

参加費：会員2,000円 一般2,500円（会員価格は1会員様に対し1名様のみ有効です）

定 員：100名（先着順・定員になり次第締め切ります）

申 込：下記の連絡先までお願いいたします。（電話でのお問い合わせは月・木・金にお願いします）

tel/Fax 06-6466-3740 e-mail clc-osaka@clc-japan.com 担当：宇城（うじょう）

主 催：NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）大阪

共 催：社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会

全国コミュニティライフサポートセンター（略称CLC）は、“誰もが地域で普通に”暮らせる地域社会を目指して1999年に発足したNPOです。2001年2月に法人化した後も、子ども、障害者、高齢者分野を問わず新たな挑戦をしている全国の取り組みを紹介しながら各地でネットワークづくりを進めてきています。大阪事務所は5つ目の拠点となります。

申込者				
住 所	〒			
電話番号	() -		Fax 番号	() -
勤務先（所属）				
交流会 参加後約2時間	出席・欠席（会費約2000円） 講師を囲んでの交流会です。		ご入会頂いている ものがあれば 印	JUNTOS / 宅老所グループホーム全国ネットワーク 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 / CLC

浦河べてるの家

回復者クラブ「どんぐりの会」の有志が、教会の古い会堂を住居として借り受け、1980年に発足した。1984年、べてるの家と名づけられる。のちに、昆布の下請け作業から自前で製造販売を開始、さらには地域での介護用品の販売に取り組み、1993年には有限会社、2002年には社会福祉法人を設立した。それぞれの代表は、回復者のメンバーがつとめている。共同作業所、共同住居、通所授産施設などを運営しており、事業に参加している人たちの総数は100人を超える。幻聴や妄想を語りあう「幻覚&妄想大会」、精神分裂病者のセルフヘルプグループ「SA」などなど、世界の精神医療の最先端の試みが、ここ北海道浦河という小さな町ですでに根をおろしていたことでも注目を集めている。なお、「べてる」とは、旧約聖書に登場する地名で「神の家」という意味がある。

<CLC 大阪サロン開催の経緯・今後の予定>

第10回 CLC 大阪サロン 11月28日(金)

「地域に根ざした福祉の実現へ～特養『花嵐』の改革」

特別養護老人ホーム「花嵐」施設長 水野博達さん

第11回 CLC 大阪サロン 12月19日(金)

「このまちで暮らし続けたい～地域で生きていくとは？」

西宮市社会福祉協議会「青葉園」担当課長補佐

兼「のまネット西宮」センター長 清水明彦さん

第12回 CLC 大阪サロン 1月27日(火)

「子育て支援を通して作る地域ネットワーク」

NPO 法人エフ・エー理事・コーディネーター 長福洋子さん

第14回 CLC 大阪サロン 4月16日(金)18:30～(予定)

ひょうごセルフヘルプグループ副代表 後藤至功さん

CLC サロンで「地域との共生」について考えてみませんか？

CLC 大阪サロンでは、近畿内外の元気な活動をしているゲストスピーカーに、様々な切り口から「地域」にこだわった熱い思いを語っていただきます。毎月1回、みなさんと一緒に夢を語り合い、一緒に考える場として、明るい未来のための豊かな社会作りを提案していきます。サロンの様子は CLC 発行隔月誌「JUNTOS」でもご紹介しています

第12回 CLC 大阪サロンミニレポート

サロンの様子は、地域生活応援誌「JUNTOS」でもご紹介しています

第12回 CLC サロンは「子育て支援を通して作る地域ネットワーク」と題し、大阪市阿倍野区にあるNPO法人エフ・エーの長福洋子さんに、石炭ストーブのように熱くても、全体を暖かさが包み込まれるようなお話を伺いました。エフ・エーは「ふれあいあべの」頭文字をとって、30～50代の女性たちが「自分たちの老後はどうなるの？」の気持ちから「気兼ねなく！気持ちよく！気軽に！」利用できる地域サービス創ったのが始まりです。テーマは子育て支援でしたが、高齢も障害も児童も地域に求められるサービスと情報を「必要な時に必要な所へ」を考え前向きに実践されてきました。その経過を機関車のようなテンポで語る長福さんの話に私たちは吸い寄せられるように聞き入ってしまいました。そして、地域の他団体と繋がって、もっと「痒いところに手が届く」サービスや情報を提供出来る事も学ばせていただきました。今後はいつでも誰でも寄れる「ほっと」スペースを創りたいと話されています。地域のニーズを追い求めつつ、それに応えていこうとしているエフ・エーの活動はどんどん燃え上がっていくように思えました。(S)

今月のこんなところで書籍案内

「地域生活応援誌 JUNTOS 7号 特集 第四回ユニットケア全国セミナー公式ガイドブック」

CLC 編集・発行 / B5判 / 68ページ / 600円

隠れ特集「浦河を訪ねて～べてるの家を解剖する」では、JUNTOS 編集長が浦河の地を訪ね、体当たり取材を敢行しています。べてるの家での5つの発見を分かりやすく解説。JUNTOS7号では、7ページにわたってべてるの家を紹介しています。(JUNTOSは年間購読会員も受付中です！CLCサロンのご優待対象になります！)